

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	アレクチニブ(ALK融合遺伝子陽性固形がん)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	ALK融合遺伝子陽性の進行・再発の固形がん
保険適応外の使用	☐ 有 ☒ 無
入院外来区分	☐ 入院 ☒ 外来

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALK-1
登録日・更新日	2026年6月23日
削除日	
出典	アレセンサカプセル150mg添付文書 (2026年5月改訂 第3版)
入力者	鳥井原 彩香

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	アレクチニブ塩酸塩 (アレセンサカプセル)	150mg	300mg/回	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1日2回	連日
	—					

1コースの期間	-
投与間隔の短縮規定	☐ 短縮可能(日)・ ☒ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	【休薬・中止基準】 副作用により休薬する場合、回復後は休薬前と同一用量で投与を再開できる。 忍容性が得られない場合は、投与を中止すること。 ※本適応(進行・再発固形がん)における減量規定なし
催吐性リスク	-
前投薬	-
支持療法(その他)	-
その他の注意事項	・ALK融合遺伝子陽性が確認された患者に投与すること。 ・手術の補助療法における有効性及び安全性は確立していない。 ・重度の肝機能障害(Child-Pugh分類C)のある患者は減量を考慮する。 ・CYP3A阻害剤・誘導剤との相互作用に注意すること。可能な限りCYP3A阻害・誘導作用のない薬剤への代替を考慮すること。